

## リモートの企画・提案型ワークで学生の成長を実感！（三重大学就職支援チーム）

・**受入企業** 三重大学就職支援チーム(教育機関)

・**テーマ** リモートで体験 大学の就職支援業務

### ・POINT!

「発想力」「説明力」「時間管理」の3つを実感してもらうことを目的に企画・提案型ワークを設定。データ整理に始まり最終的に発表まで行うことで、達成感を感じてもらうとともに、社会人として求められる力を理解してもらいます。また、ワークだけでなく、バーチャル職場見学や座談会などを盛り込むことで、参加学生がリモートでもさまざまな体験ができるように工夫しました。

### ・実施内容

大学の就職支援業務を体験してもらうため、大きく二つの課題を設定。

一つ目は、「就職状況データ」の整理・グラフ化に取り組みます。事務職員として必須となる表計算ソフトを駆使し、そこから読み取ることができる傾向や課題をまとめます。

二つ目は、企画力・提案力が試される「県内就職率を上げるには」という課題に挑戦し、最終的に自ら考えたプランの発表まで行います。

そのほか、企業担当者と話す機会を設けたり、動画撮影をしながら各所属を案内し、職員と対話できるバーチャル職場見学や若手職員との座談会も実施しました。

### ・スケジュール

9月16日(水)～9月18日(金)の3日間(18時間)

	AM	PM
9/16(水)	目標設定 大学の事務組織説明、就職支援チームの業務説明、学務部内の案内(動画撮影)	課題①「三重大生の就職状況のデータ整理と読み取り」 企業向け「パワーアップセミナー」体験
9/17(木)	課題①の成果を参加学生間での共有	課題②「三重大生の県内就職率を上げるには」
9/18(金)	課題②の成果を職員に発表	若手職員との座談会 振り返り

### ・受入担当者コメント

参加学生は3日間で見違えるほど成長しました。そしてまだまだ伸びていく可能性を感じさせてくれました。オンラインということで、最初はコミュニケーションの取り方や、システムの操作方法に苦労しているようでしたが、プログラムをこなすごとに慣れていき、最終日の発表会では、整理したデータを根拠にしてしっかりと自身が考えた提案を発表することができました。

受入側としては3日間のリモート対応に不安もありましたが、実際にやってみて、工夫次第でできることは多いと感じました。バーチャル職場見学や成果発表会などはまだまだ膨らませることができますし、5日間でも十分に対応できる内容になると思います。

### ・参加学生の声(人文学部2年)

課題解決ワーク等を通して、時間管理の重要性や自分の考えを他者に伝えることの難しさを知ることができ、リモートでもとても有意義なものであったと感じています。オンライン上の発表では、対面に比べ緊張感は和らいだ一方、聞き手の反応や雰囲気が分かりにくいいため、伝わっているのか心配になる場面もありました。今後、自分が聞き手側になった際には、頷き等を普段よりもしっかりすることを心がけたいと思います。

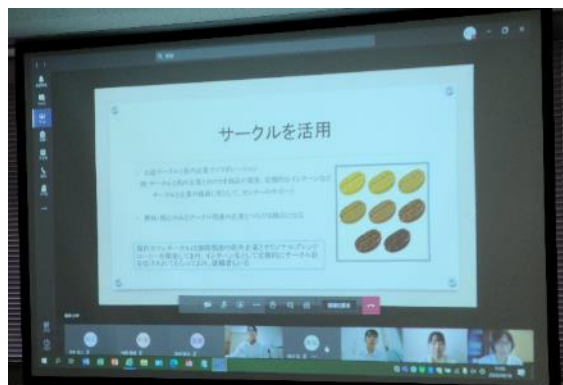
課題解決ワークをする中で、アイデアを出すことに苦労したので、自分の考えを言語化し、それを掘り下げる訓練や多くの経験や知見を広げることを意識し、これからの学生生活を過ごしていきたいと思えます。コロナ禍に配慮したリモートでのインターンシップを実施いただきとてもありがたかったです。



参加者同士、Microsoft Teamsで意見交換



成果発表の様子をスクリーンに投影



パワーポイント資料により発表する様子



バーチャル職場見学を行う職員